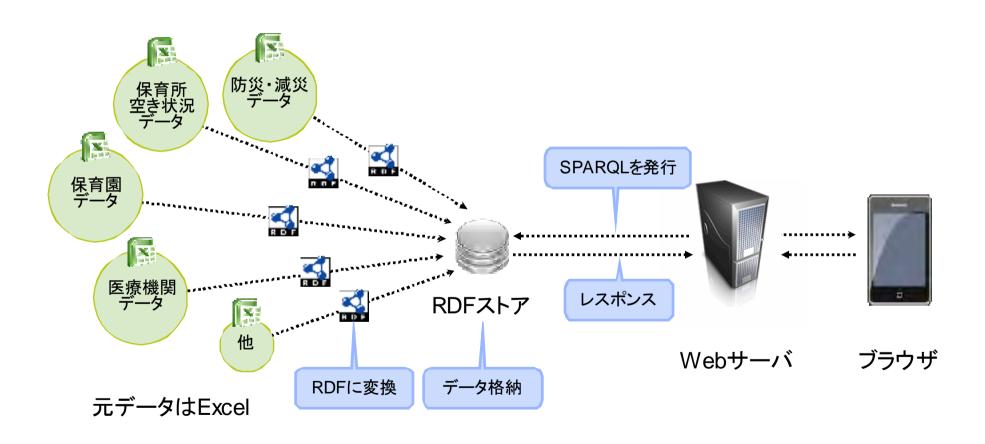
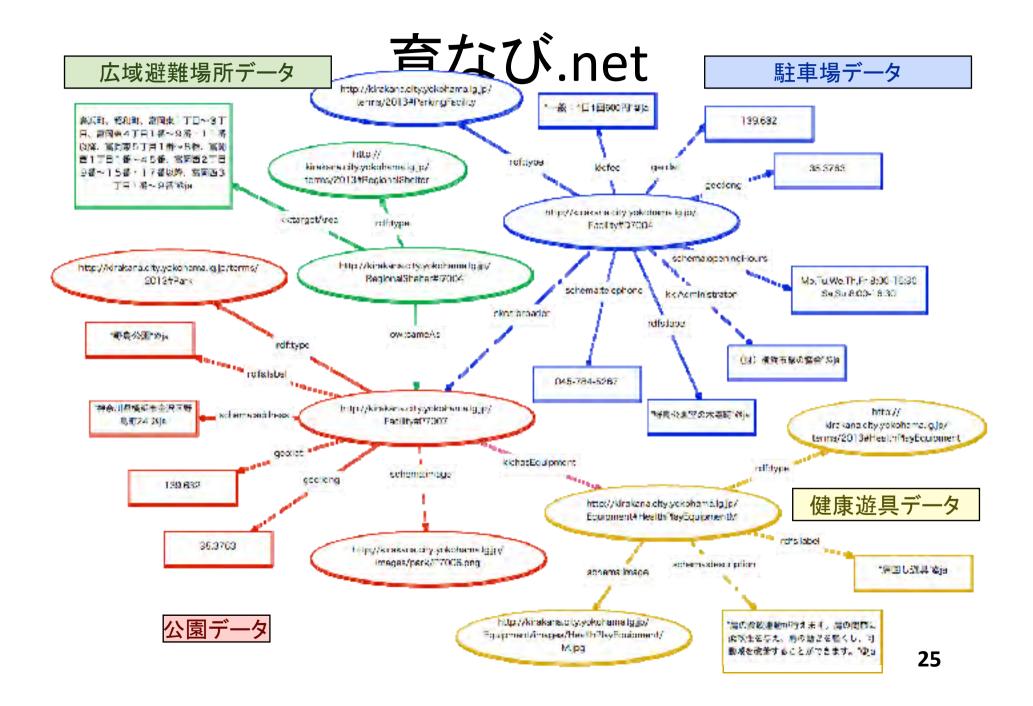
育なび.net

育なび.netのシステム





IMI共通語彙基盤 - 語彙の設計方針 -

- 日本語の語彙とする
- 意味や構造は明確になるようにする
- 業界を越えての情報交換を可能にする
- 用途に応じて適した物理形式によるデータ交換・共有が可能 とするため、特定の物理形式に依存しないようにする
- 一部の項目を利用することや、項目を追加すること、他の語彙との併用が可能となるようにする
- 継承などにより、コア語彙など基本的な語彙を最大限活用できるようにする
- 既存システムの変更をすることなしに、データ交換の際に利用できるようにする
- 順次導入が可能なようにする

共通語彙基盤 コア語彙 2 (バージョン2.2)

DOMAIN PUBLIC

To the extent possible under law, Ministry of Economy, Trade and Industry and Information-technology Promotion Agency, Japan has waived all copyright and related or neighboring rights to Infrastructure for Multilayer Interoperability (IMI) Core Vocabulary 2.20. This work is published from: Japan.

クラス用語

クラス用語一覧

- ID, ID体系, アクセス, アクセス区間, イベント, イベントスケジュール, コード, コードリスト, スケジュール, 価格, 期間, 業務組
- 織、金額、建物、構成員、座標、施設、施設関連、氏名、事物、時間、実体、住所、重量、詳細スケジュール、詳細スケジュール規則、場
- 所、状況、人、人数、数量、製品、製品個品、設備、組織、組織関連、測定値、地物、駐車場、長さ、定期スケジュール、電話番号、日時、日
- 付, 法人, 名称, 面積, 容量, 連絡先

\wedge

説明:

人の情報を表現するためのデータ型

継承:

ic:実体型

プロパティ:

項目名	データ型	Cardinality	説明	
ID	ic:ID型	0n	ID	
<u>氏名</u>	ic:氏名型	0n	氏名	
性別	xsd:string	01	性別の表記	
性別コード	ic:コード型	01	性別コード	
生年月日	ic:日付型	01	生年月日	
死亡年月日	ic:日付型	01	死亡年月日	
住所	ic:住所型	0n	現住所	
本籍	ic:住所型	01	本籍	
連絡先	ic:連絡先型	0n	連絡先	
国籍	xsd:string	0n	国籍の表記	
国籍コード	ic:コード型	0n	住民基本台帳で利用されている国籍コ	
出生国	xsd:string	01	生まれた国名	
出生国コード	ic:コード型	01	生まれた国のコード	
出生地	ic:住所型	01	生まれた場所	

氏名【種別】

説明:

人の氏名を表現するためのデータ型

継承:

ic:事物型

プロパティ

項目名	データ型	Cardinality	説明	
種別	xsd:string	01	氏名の種類の表記	
姓名	xsd:string	01	氏名(姓、名)の表記	
姓名カナ表記	xsd:string	01	氏名(姓、名)のカナ表記	
姓名ローマ字表記	xsd:string	01	氏名(姓、名)のアルファベット表記	
姓	xsd:string	01	姓の表記	
姓カナ表記	xsd:string	01	姓のカナ表記	
姓ローマ字表記	xsd:string	01	姓のローマ表記	
名	xsd:string	01	名の表記	
名力ナ表記	xsd:string	01	名のカナ表記	
名ローマ字表記	xsd:string	01	名のローマ字表記	
ミドルネーム	xsd:string	01	ミドルネームの表記	
ミドルネームカナ 表記	xsd:string	01	ミドルネームのカナ表記	
ミドルネームロー マ字表記	xsd:string	01	27 ミドルネームのローマ字表記	

データ活用社会に向けて

- いかに使えるデータを作るか -
- 組織のデータの現状
 - ばらばらに管理
 - ばらばらのフォーマット
 - 相互のつながりの欠如
- なぜそうなのか
 - 組織文化
 - 部門主義
 - データに関する無関心
 - 硬直的なシステム
 - 中央集権型システム
 - 変化と多様性に対する非対応
- どうすればよいのか
 - データに関する意識の向上
 - Data is an asset
 - システムに対する新しいアプローチ
 - 変化と多様性に対応出来る仕組み
 - 分散性

データとは データ自身の 量(Volume) 変化の速度(Velocity) 多様性(Variety) データ構造の 量(Volume) 変化の速度(Velocity) 多様性(Variety)

常にScaleすることを念頭にしたシステム構築を!

